

あなたもできる！ 地域共生社会に向けて

地域共生社会は、小さなつながりが集まってつくられていきます。あなたも普段できることから始めてみましょう。

①近所の人に声を掛けてみよう

気軽にできることから、地域の人を知ることにつながります。

②地域の行事に参加しよう

地域のイベントや、自治会の行事などに参加してみましょう。新たなつながりが広がるかもしれません。

③ながら見守りでも大丈夫

散歩しながら、回覧板を回すついでに、などでも大丈夫。普段と違う様子がないか、周りを見てみましょう。気になることがあった場合は、相談機関などに相談してください。



保健・福祉に関する相談・問い合わせ

※市外局番 0287 を省略した表記にしています。

高齢者に関すること

市の窓口のほか、市内に8カ所ある地域包括支援センターでは、高齢者福祉・介護・健康などの相談・支援をしています

▶問い合わせ **高齢福祉課** ☎(62)7327

障害者に関すること

障害者福祉に関する相談・支援をしています

▶問い合わせ **社会福祉課** ☎(62)7026
障害者相談支援センター ☎(62)7787

子どもや子育てに関すること

子ども子育て総合センターでは、子育て、婦人相談、発達支援、ひとり親家庭などの相談・支援をしています

▶問い合わせ **子育ての悩み相談** ☎(46)5537
ひとり親・発達支援の相談 ☎(46)5538

健康、妊娠期から子育て期に関すること

健康に関する相談・支援をしています

▶問い合わせ **黒磯保健センター** ☎(63)1100
妊娠・出産・子育てに関する相談・支援をしています
▶問い合わせ **西那須野保健センター** ☎(38)1356

生活に困っているとき

生活に困ったときの相談や、生活保護制度による支援をしています

▶問い合わせ **社会福祉課** ☎(62)7136

地域福祉・生活相談などに関すること

地域の福祉活動、生活の中のさまざまな困りごと、ボランティア活動に関する相談・支援をしています

▶問い合わせ **市社会福祉協議会** ☎(37)5122



複数の課題を抱えているときや、相談先が分からないときは……

始まります！

10月から福祉総合相談窓口を開設します

地域共生社会の実現に向けた取り組みの1つとして、分野に関係なく、さまざまな相談を丸ごと受け止める福祉総合相談窓口を10月1日から**社会福祉課**に開設します。相談先が分からないときや、複数の課題を抱えているときなど、各種サービスの案内のほか、各相談支援機関とつながりながら、課題について一緒に考えます。どなたでも気軽に相談してください。

▶問い合わせ **社会福祉課 福祉総合相談** ☎0287(73)5068 ※10月1日(金)から。



地域座談会でアドバイスをもらっています

家族や世帯の単位が小さくなり、地域のつながりが希薄化して孤立する人が増えています。例えば、これまで問題がなくても、退職後や、家族との離別・死別後に孤立することがあります。そこに高齢化や経済的な問題が重なり、孤立して生活に困難を抱えたとき、どう支援につなげていくかが大きな課題です。

最近の福祉が抱える現状や課題は

市が策定する地域福祉計画のアドバイザーとして協力。社会福祉学博士。



国際医療福祉大学 准教授 おおいし たけし さん

つながりで新しい地域社会を

行政システムはいわゆる「縦割り行政」になりがちで、福祉分野は高齢、障害、子どもなどの担当部署に分けられています。しかし、実際の現場では、1つの世帯で複数の分野に関わる問題が発生しています。ある部署では把握していても、別の部門では把握しておらず問題が大きくなった事例もあり、これからは横割りの行政システムにつくり変えていくことが1つ目の大事なポイントです。

私たちにできることは

2つ目のポイントは、皆さんができる範囲で、地域とのつながりをつくることです。人は孤立すると健康が損なわれやすくなり、孤立している人に比べて死亡率が2倍になることが分かっています。現在はコロナ禍で人と会う機会が減ったため、今後マイナスの影響がでてくる可能

オンラインで

地域座談会を開催します

市の福祉の方向性を定める地域福祉計画。地域の声を取り入れるため、地域座談会を行います。詳細は市ホームページを見てください。

▶とき 10月22日(金) 午後7時～
10月30日(土) 午前10時～

▶問い合わせ **社会福祉課** ☎0287(62)7031



性があります。一人一人がより意識して、身近な地域で共に住みよく暮らすことを考えてほしいです。最近では経済的な豊かさだけでなく、人と人、人と自然の関係を重視した持続可能な社会づくりという考え方が広まってきました。地域共生社会づくりに際しても、さまざまな関係者のつながりづくり・環境づくりが必要です。高齢者世代や次の世代、福祉関係者や企業などが集まる公共の場所をつくり、皆さんの得意なことを合わせると、とても強い力になります。多様な人々とのつながりを意識した行動が、これからは重要です。